

受付番号

32

許可番号

大歯医倫 第 111127 号

研究課題名

周術期口腔ケアを実施した患者の術後状態の調査

研究責任者

梶 貢三子

申請者

中村 紀子

研究終了日

2022 年 3 月 31 日

所属

医療保健学部

所属

医療保健学研究科

口腔保健学科

口腔科学専攻

職名

准教授

職名

修士課程 2 年生

申請の概要

2012 年 4 月にがん治療における周術期口腔機能管理に対する診療報酬が算定され、2018 年には対象患者が拡大した。これは、周術期口腔機能管理を行うことにより手術後の有害事象の発生が低下するためである。大阪歯科大学附属病院では、周術期口腔機能管理において専門的口腔清掃の口腔ケアを実施している。口腔がんの 5 年生存率は 40～60%、転移は 25%と言われている。そのため治療後にも、再発、転移のチェック、糖尿病や心筋梗塞等の全身的なリスク管理のためにも定期的な通院が必要とである。しかし、術後入院中の口腔ケアを実施した患者が、退院後に歯科衛生士による口腔衛生管理のために口腔ケアを継続して行うことは少ない。本研究により周術期口腔ケアを実施した患者の術後状態の調査を行い、術後の口腔ケアの実態があきらかになれば、今後の適切な対応について検討することにより患者の QOL の向上が可能になると期待される。